



testo 108-2
食品用温度計

取扱説明書



目次

1.	はじめに	3
2.	各部の名称	3
3.	安全上のご注意	3
4.	製品の概要	4
5.	テクニカル・データ	4
6.	操作方法	5
6.1	保護ケース(ソフトケース)	5
6.2	電池の装填	5
7.	操作	6
7.1	電源 On / Off	6
7.2	測定	6
7.3	測定中に	6
7.4	プローブの装着	7
8.	温度計の設定	8
9.	保守とメンテナンス	8
9.1	電池の入れ替え	8
9.2	測定器のクリーニング	9
10.	トラブルシューティング	9

1. はじめに

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。

2. 各部の名称



3. 安全上のご注意

⚡ 感電の回避：

- ▶ 通電部品の上あるいは近くで測定を絶対に行わないでください。

⚠ 安全な取り扱い/保証条件の遵守：

- ▶ テクニカル・データに記載されている限度内の測定でご使用ください。無理な力を加えないでください。
- ▶ 溶剤（例：アセトンなど）と一緒に保管しないでください。
- ▶ 取扱説明書に記載されているメンテナンスの目的以外で、製品を開いたり、分解しないでください。

♻️ 環境の保護：

- ▶ 使用済み電池を廃棄するときは、所轄自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- ▶ 本製品を廃棄するときは、所轄自治体の電子部品あるいは電子製品の廃棄方法の定めに従って処分してください。

4. 製品の概要

testo108-2は、各種食品の中心温度測定に適した温度計で、次のような業務・分野で使用できるよう設計されています。

- ・食品業界：食品の製造、調理段階における温度のチェック
- ・液体、ペースト、半固形食品



製品の下記記載内容は、(EC)1935/2004食品と接触する材料・製品に関する規制に準拠しています。また、本体は食品業界と継続的な連携を図り、設計されています。

浸漬・芯温プローブは、プローブ先端から持ち手またはプラスチック部分の1cm手前までを指しますが、浸漬の深度については、本書7.2に記載されている内容をお読みいただくか、先端の細い部分を浸して下さい。

本製品を次のような測定に使用しないでください。

- ・爆発の危険がある場所での測定
- ・医療目的のための体温測定

5. テクニカル・データ

項目	内容
プローブタイプ	T熱電対(同梱)、K熱電対(接続可)
測定項目	温度(°C)
測定範囲	-50~+300°C(プローブ金属部分のみ)
分解能	0.1°C
本体精度 (±23°C±3°C)	±0.5°C(-30~+70°C) ±0.5°C+測定値の±0.5%(その他の範囲)
プローブ精度	±0.5°C(-40~-20°C) ±0.2°C(-20~+70°C) ±0.5°C(+70~+125°C) 測定値の±0.4%(その他の範囲)
応答速度 t99	10秒
測定間隔	2回/秒
動作温度	-20~+60°C
保管温度	-30~+70°C
バッテリー	単4電池 × 3
バッテリー寿命	約2,500時間(+23°C時)
ハウジング	TPE/PC+20%GF、ABS/PET、ABS+PC+10%GF/TPE
保護等級	IP67(同梱プローブ接続時)
プローブ寸法	プローブ長: 120mm(金属部分 85mm、グリップ 82mm) プローブ径: φ4mm(先端部分、3mm) ケーブル長 90cm
外形寸法	144×60×24.5mm
質量	162g(電池含む/ソフトケース含まず)、プローブ 54g
ディスプレイ	LCD、1行(測定値)、アイコン
規格	EN13485 / EC Directive 2004/108/EC
機能	Min/Max/Hold
保証	2年間



規格について

この製品は、EN13485ガイドラインに適合しています。

適合性：S, T (保管、輸送)

環境：E (ポータブル温度計)

精度クラス：1

測定範囲：-50～+300℃

EN13485によると、この測定器は、EN13486の規定で、定期的に検査、校正を行うよう規定されています。
(推奨：年一回)

EN13485: ポータブル測定器に関する要求事項

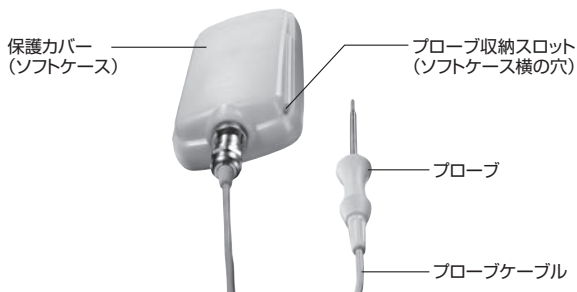
EN13486: 使用するデータロガーやポータブル測定器の校正

6. 操作方法

6.1 保護ケース (ソフトケース)

testo108-2付属の保護ケース(ソフトケース)は、衝撃や汚れから本体を保護します。

また、保護ケース(ソフトケース)横に開いている溝にプローブ先端を挿入・保管できますので、現場でも安全に保管・管理が可能です。



6.2 電池の装填

1 電池カバーのネジを取り外します。

2 電池ボックス・カバーを開けます。





3 電池(単4型電池×3本)を装填します。
極性にご注意ください。

4 電池ボックス・カバーを閉じます。

5 電池ボックス・カバーのネジを留めます。

7. 操作





7.1 電源 On / Off

- ▶ 電源オン：  を押してすぐ離します。
 - 「ディスプレイ・テスト」が表示され、測定が行えるようになります。
 - ▶ 電源オフ：  を3秒間以上押し続けます。
工場出荷時の設定
 - ▶ 測定単位： °C
 - ▶ プローブタイプ： T
 - ▶ 自動電源オフ時間： 10分（電源を入れてから10分経過すると、電源が自動的に切れます）
 - ▶ オートホールド： オフ
- 設定を変更するには調整の項目をご参照下さい。

7.2 測定

- ! 正確な測定を行うため、浸漬/芯温プローブの先端を対象物に22mm以上差し込んでください。
- ! T温度計本体の動作温度は、-20～+60℃の範囲です。ただし、浸漬/芯温プローブの測定範囲は-50～+300℃となります。
- ✓ 測定器の電源を入れます。
- ▶ 測定対象物にプローブの先端を差し込んで（浸して）下さい。
 - 測定値が表示されます。値が安定するまでそのまま待ちます。

7.3 測定中に

- 1  を押す： Hold が表示されます。
 - 測定値を固定表示します。
- 2  を押す： Min が表示されます。
 - 測定中の最小値が表示されます。
- 3  を押す： Max が表示されます。
 - 測定中の最大値が表示されます。
- 4  を押す： 測定モードに戻ります。

最小値/最大値をクリアするには

▶  を長押しします。

- CLr が表示され最小値/最大値が削除されます。

測定器の電源をオフにすると、最小値/最大値は自動的に削除されます。

7.4 プローブの装着



1 プロブの刻みつきナットを持ちます。プロブソケットに差し込み、ロックされるまでねじ込みます。ロックされる時に少し力を入れて下さい。



2 刻みつきナットがソケットにはまっているのを確認してください。









3 一度ねじ込むとプローブがはまります。防水のためには、ソフトケースをはめてからプローブを装着して下さい。

8. 温度計の設定

設定メニューにより、測定単位、プローブタイプ、自動電源オフ時間、オートホールドなどの設定が行えます。

! 設定変更を行う項目が1つであっても、その項目の変更だけで途中で設定メニューを終えることはできません。

✓ 測定器の電源をオフにします。

- 1 温度計の電源をオンにします：を押してすぐ離します。
 - ディスプレイ・テストが表示されます。
 - 温度計の電源をオンにします：
- 2 ディスプレイ・テストが行われている間、を約3秒間長押しします。
 - 設定モードになります。°C または °F が表示されます。
- 3 °C または °F を選択：を押し、単位を確定します。
 - 次に10, 30, 60, off が表示されます。
- 4 オート電源オフの時間を10分、30分、60分またはオフのうちから選択し、で確定します。
 - 次に、Auto-Hold の on または off が表示されます。
- 5 Auto-Hold の on/off を設定します。を押し、on または Off を選択し で確定します。
 - 設定が終了し、新しい設定になりました。

9. 保守とメンテナンス

9.1 電池の入れ替え

- 1 電池カバーのネジを取り外します。
- 2 電池ボックス・カバーを開けます。
- 3 電池(単4型電池×3本)を装填します。極性にご注意ください。
- 4 電池ボックス・カバーを閉じます。
- 5 電池ボックス・カバーのネジを留めます。



9.2 測定器のクリーニング

市販されている家庭用石鹸、洗剤などをご使用ください。強力な洗剤、研磨剤の入った洗剤等は使用しないでください。


保護ケース(ソフトケース)は液体洗剤によるクリーニングが可能です。

温度計の本体やプローブの殺菌、消毒を行いたいときは、アルコール入りスプレーなどをご使用ください。

その際は、スプレーの使用説明書に従ってください。

- ✓ 本体クリーニングの際は、プローブは本体に接続したままにしてください。
- ▶ 同梱のプローブを接続したまま、流水で軽く洗い、乾いた布でふくことも可能です。

10. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対 策
 電源マークが点灯	バッテリーが空です。	・バッテリーを交換して下さい。
--- が点灯	測定範囲外です。 測定可能範囲を上回っているか下回っています。	・測定範囲内で測定して下さい。
温度計の電源が入らない。	バッテリーが空です。	・バッテリーを交換して下さい。
温度計の電源が切れてしまう。	電源自動オフ機能がオンになっています。	・電源自動オフ機能をoffに切り替えてください。 (測定器設定の項をご参照ください)

ここに記述されていない問題が発生した場合は、お買上げの販売店またはテストサービスセンターへご連絡ください。



保証書

本保証書は、本記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。使用説明書、取扱上の注意事項等に示した正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書を添付の上、修理をご依頼ください。

*修理のご依頼時には、製品に本書を添付の上、不具合内容を明記して、お買上げの販売店またはサービスセンターにご送付ください。
なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

*この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

品名	testo 108-2	検印
型番	0563.1082	
シリアル番号		
保証期間	本体：2年	

販売店(店名、電話番号、住所)

(販売日： 年 月 日)

株式会社 テストー

■ 本社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

ホームページ <http://www.testo.com> e-mail info@testo.co.jp